

『本当の新生』 ～悪い遺伝を断ち切る～

Ⅱコリント5：13～21

最近比以前に比べ、遺伝についての研究が進み分かってきたことがあります。すべてではなく、傾向が分かった位の範囲かもしれませんが。私たちの体はDNAを元に作られています。このDNAは両親から半分づつもらって形成していくといわれています。DNAは自分の設計図のようなものです。そして実際にDNAから情報を受けたRNAというものが体に作用したんばく質を形成し、各部位になっていきます。この設計図であるDNAを調べていくと、私たちが100%でないにしても将来どのような病気になるのかが分かるとも言われている位、研究が進んできています。私たちは両親から受け継いだDNAによって造られているので、自覚が薄い場合もありますが、傍からみると似ていると思う部分があると思います。そして遺伝するもの内容として身体的な部分以外にも精神的なものも遺伝することが分かってきたのです。癌にも遺伝の影響が強くなる種類の癌もあれば、本人の生活習慣の影響による影響が強い癌もあります。また高血圧、糖尿病などの遺伝の影響が強いものです。精神的なもの領域として、「集中力」「文才」「方向音痴」のようなものも遺伝するといわれています。しかしDNAを調べていくとDNAにはない情報にも関わらず遺伝していることも分かってきました。このことから、DNAの情報をRNAが伝えていますが、このRNAはDNAの情報を変えて伝えてしまう場合もあるのではないかとということです。私たちは生きています。傷つけ、傷つけられたりします。小さい頃から現在に至るまで大小様々あったかと思えます。それを通してDNAにはない情報にRNAが変わり、各部位に伝達しているように思えるのです。今までの私たちは過去と向き合って祈っていく中で霊的な領域に対する祈りもしますが、それに加えてDNAにない情報へ変化させてしまう原因と思われる精神的な領域である心の傷についても祈っていく必要を感じています。（Ⅱコリ5:13～21）私たちは親からの遺伝によって形成されています。しかし御言葉によるならば私たちはキリストによって新しく造られた者です。これは私たちはキリストに接ぎ木されたものとなったということです。私たちは新しく生まれ変わったと言われているのはまさしく今までとは違ってキリストからの影響を受けていくことを指しています。もちろん良くなるのは当然です。私たちは神さまが創造した時は非常に良かったのですから、そこに戻らなければいけません。本当に新生をしていくためにも悪い遺伝を自分の代で断ち切る必要があるのです。私たちは人生の中でイエスキリストに出会いました。そしてキリストに接ぎ木されたのです。接ぎ木するのは幹からの良い状態に変化するためです。ですから悪い流れだけを断ち切り、良いものを残しながら次世代に伝えていく必要があるのです。①ストップ家系！！～あなたはどんな家系？～ここをよく知らないといけません。私たちは悪い部分を指摘された時、自分を否定されたように感じてしまうかもしれません。しかし家系からくる悪い遺伝であれば、自分の責任ではなく、受け継いでしまったものとして私たちの代で断ち切っていけばよいのです。だからこそ、自分の家系がどのようなものであるのかを知らなくてはいけません。そうしないと自分の似てほしくない隠れた部分がコピーされてしまい、子どもたちは自分のコピーのような存在になってしまう場合があります。ですから私たちはイエスに接ぎ木されるすなわち洗礼を受ける時は自分が過去において決断してきた様々な古いものを十字架に掛け私たちから捨てる決断が必要なのです。古いものとは私たちが先祖代々引き継いでしまった負の遺産のようなものです。これを十字架にかけ新しくするのですが、神さまの新しくする方法は上塗りではなく古いものを壊して新しく建て直すしかありません。リフォームではなく、土台が変わりすべてが新しくなるのです。ですからもう一度私たちの霊的な部分、精神的な部分で新しくなっているのか、古いままが当たり前に残っていないのかを確認していきましょう。そしてもう一つ確認したいことは私たちの新生が止まっていないかということです。日々、新しく生まれ続け、古い自分がなくなるようになっていきたいと思えます。そうしないと悪い部分も次世代に引き継がせてしまうからです。ですから今日、悪い流れを断ち切り良いものだけが流れるようにしていきましょう。そして受けた後も戻らないようにしないといけません。②キリストに新しく結ぶ！！～イエスはどんな方？～モーセ、ダビデ、パウロ、ペテロなど信仰者がいましたが、彼らも不完全でした。完全な方はイエスキリストただ1人です。これからはイエスの名を継ぐものとして歩んでいきましょう。イエスキリストはどのような方ですか？イエスを知れば、イエスようになっていくことができるのです。私たちの神は救いの神であり、救いを届けたのはイエスであり、救いの証しをする聖霊様です。では私たちはイエスの行動を実践していく神の子どもです。なので私たちが日々新しく生まれ変わっていきましょう。（エペソ4:22～32）私たちはイエスの木に接木されてきていますが、他にも接木されている人々はたくさんいます。では自分のために隣人の枝を阻害しても良いのでしょうか。もちろんよくありません。そして接木された1人が枯れてしまったとしたら木全体が枯れてしまうので、私たちは支え合わないといけません。しかし私たちは聖書に書かれている通り、悪い言葉を吐き出すことをやめましょう。人は完全ではありませんので、失敗する時もあります。その時が肝心です。その時に開き直ることなく、素直に悔い改めていきましょう。ですから③愛と許しが大切です。～これがあなたの悪い遺伝を壊す鍵～周りから嫌なことをされようと愛して許していくことは一般的にはありえないことです。かえって自分は悪くないと主張するだけです。新しく生まれ変わる方法はこの愛と許しなのです。これができれば私たちから愛が流れ出てきます。自分自身の家系を振り返り、悪い遺伝をストップして私たちを通して神からの良いものだけが流れ出ていくように今日から日々新しく生まれ変わっていきましょう。（要約者：平澤 一浩）